

## 英語絵本の読み聞かせ経験による保育専門学校生の英語に対する意識変化

高橋ユウエン 下平正恵 宮原千秋 寺澤くるみ

### はじめに

文部科学省(2016)は、小学校外国語活動として英語絵本の読み聞かせを推奨している。絵本の絵は、非言語的情報が提供されているため、状況・場面が理解しやすくなっている。絵本の文章には、簡単な単語と表現が使われている。そのため、英語絵本は英語学習に有効な教材として認識されている。英語絵本は、大学や短期大学などでも活用されており、英語学習や学習へのモチベーション向上の効果が観察されている(城一, 2015; 昆布, 2015; 小宮, 2003; 牧野, 2012; 杉本, 2022; 高瀬, 2008; Takase & Otsuki, 2011)。保育者を目指す専門学校生の中には英語に苦手意識を持っているものも多いが、絵本読み聞かせを体験できる学習なら英語に対する抵抗感が減るのではないかと考えた。そこで本研究では、保育専門学校生向けの英語授業で英語絵本を取り入れ、音読・翻訳・読み聞かせなどの活動を通して、英語学習や英語絵本への意識の変化を調べた。

### 方法

#### 対象者と授業内容

対象者は、2年制保育専門学校の必修科目「英語コミュニケーション」を受講する一年生16名であった。授業では、教員は書画カメラを使って英語絵本を学生全員に見せてから読み聞かせをした。その後、学生は少人数グループでわからない英単語と表現を辞書や翻訳アプリで調べ、日本語に訳した。次に、教員と一緒に声を出して3~5回読んで、小グループに分かれて学生同士で互いに読み聞かせをした。読み方の工夫や文化特有の部分などについても話し合った。15週間にわたって、全部で4冊の英語絵本を読んだ。表1に授業で使用された絵本の作者名、発行年、タイトルを示した。

---

表1. 授業で使用された英語絵本

---

Christelow, E. (2004). *Five little monkeys jumping on the bed*. NY: Clarion Books.

Emberley, E. (2005). *Go away, big green monster!* NY: LB kids.

Katz, K. (2002). *Excuse me! A little book of manners*. NY: Grosset & Dunlap.

Shannon, D. (1998). *No, David!* NY: SCHOLASTIC.

---

#### 課題

課題は、書き課題と実技課題2種類があった。書き課題として「絵本ノート」があった。この課題は、英語絵本を読み、プリントにタイトルや作者などの基本情報と、物語のあらすじ、読み聞かせの際の工夫などを記入するものであった。実技課題は、英語絵本の「読み聞

かせ」であった。学生は自由に英語絵本を選んで授業で小グループのクラスメートに読み聞かせを実践する課題であった。

#### データ収集と分析

令和5年度後期授業第1回目（事前調査）と最終授業日（事後調査）に英語や絵本に対する意識調査を実施した。欠席と矛盾回答の理由で学生2名のデータを除いて、合計14名のデータを分析した。

### 結果と考察

#### 英語学習への意識変化

事前と事後の意識調査を比較した結果、英語学習（特に、話す、読む、書く等英語能力に関する項目）への意識に変化は見られなかった。学生14名中、8～11名は事前事後の比較により自分の英語学習面に対する評価は変わった。しかしながら、英語絵本への興味や英語で絵本を読むことについては、ポジティブな変化が見られた。事後調査では、英語絵本への興味を示さなかった学生は1名のみで、学生6名は読み聞かせの経験前と比べて英語絵本への興味が高まったと回答した。

#### 英語絵本の経験について

授業での英語絵本の読み聞かせ経験に関して、ほとんどの学生（14名のうち11名）が「課題でなかったら、英語絵本を読まなかった」に回答した。学校の授業でなかったら、自から英語絵本に触れる機会がなかったと考えられる。11名の学生は「英語絵本を読むことで、英語（言語）スキルの向上に役に立った」とも回答し、英語絵本に触れる経験で自分自身の英語スキルに良い影響があったようだ。英語絵本自体についても、「絵・イラストはきれい」（10名）と「絵・イラストがあるため、何となく内容が想像できる」（13名）と回答し、英語絵本の挿絵をポジティブに評価した。本授業での英語絵本の読み聞かせの取り組みは「将来保育の仕事に役立つ」と思う学生もほぼ全員（11名）で、全般的に学生にとって有意義な経験であったと考えられる。

#### まとめ

本研究では、保育専門学生向けの英語授業で英語絵本を取り入れ、英語学習や英語絵本への意識の変化を調べた。その結果、英語学習・英語スキルには大きな変化は見られなかったものの、英語絵本の経験に対してポジティブな態度を示した学生が多かった。このことから、今後、今回の実践の内容や期間等について改めて検討し、英語スキルの向上にもポジティブな効果が出るような取り組みにしていきたい。

## 文献

- 城一 道子(2015) 英語絵本の読み聞かせに対する学生の態度 -教員養成課程における試み  
- 教育総合研究：江戸川大学教職課程センター紀要, 3, 1-10.
- 昆布 孝子(2015) 幼児教育学科における英語学習 -保育英語と英語絵本- 紀要, 171-186.  
naragakuen.repo.nii.ac.jp
- 小宮 富子(2003) 保育系学生を対象とする英語翻訳指導と異文化理解教育統合の試み  
JACET 中部支部紀要(1), 35-49.
- 牧野 真貴 (2012) リメディアル教育対象クラスにおける英語絵本読書の実践報告 -読書  
意欲と語彙に注目して- 近畿大学教養・外国語教育センター紀要・外国語編, 2(2), 281-  
293.
- 文部科学省 (2016) 中学年を対象とした、絵本活用に関する基本的な考え方 Retrieved from  
[http://mext.go.jp/a\\_menu/kokusai/gaikokugo/\\_icsFiles/afieldfile/2016/05/02/1370109\\_1.pdf](http://mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/_icsFiles/afieldfile/2016/05/02/1370109_1.pdf).
- 杉本 孝美 (2022) 保育士養成課程における英語授業の役割 -学生の英語学習に関する意  
識調査を踏まえて- 大阪総合保育大学紀要, 16, 13-24.
- 高瀬 敦子 (2008) やる気を起こさせる授業内多読 近畿大学英语研究会紀要, 2, 19-36.
- Takase, A., & Otsuki, K. (2011). The impact of extensive reading on remedial students.  
Kinki University Center for Liberal Arts and Foreign Language Education Journal,  
Foreign Language Edition, 2 (1), 331-345.